

探せば見つかる最強投資 プロの稼ぎワザ

日経

マネー

http://www.nikkeibp.co.jp/money/

December 2012 650yen 12

日経マネー 12月号 2012年10月21日発行・発売 (毎月1回21日発行・発売) 通巻361号 1986年3月3日第3種郵便物認可

加入 & 解約方法は?

家族リスク別 保険 死亡 がん 収入保障

経営上手、ニッチ企業... 年末高値を狙う!

今期 好業績株

探せば見つかる最強投資

公開! プロの

稼ぎワザ

50

達人ワザ



- 端株優待で利回り100%超
- サイト売買で利回り40%も
- TOB銘柄を先回り買い

耳寄りワザ



- 米国「お化け銘柄」を永久保有
- スペイン国債7%超えは買い
- ミャンマー株をシンガポールで買う

高金利ワザ



- 円高でも年利5%狙う投信
- 金利上乘せの劣後債
- 日経平均CFDで年2%配当

勝率UPワザ



- 空売りで下げ局面も収益化
- 帰ってきた「勝率8割IPO」
- 日本国債暴落への最強対策

賢い加入 & 解約法は?

“家族リスク”で選ぶ

最適保険



年末高値に乗り!

狙い目の

好業績株



専門家に聞く②



社会保険労務士
池田直子さん
いけだ・なおこ
1998年から社会保険労務士として実務経験。人事・退職金、労務管理に詳しい。

病気で長期療養 その時、収入は？

突然の病気・ケガで長期療養生活に！ あなたは生活を回せるだろうか。専門家はこう語る。

と充実している一方、中小企業は制度があっても2〜3カ月が多い。**休職中は会社が所得など保障**

病気で休んでも最長1年半は実

質的に所得が保障される場合が多い。基本は健康保険の傷病手当金

とおおむね給与の3分の2が支給さ

れる。この手当金は非課税で、実

質的には4分の3程度の所得が保

障されることになる。

大企業を中心に、休職中で仕事

をしなくても一定期間、給与が支

給される場合がある。年次有給休

暇を利用して給与は支給される。

本来、会社員は労務を提供しなければ、給与を受け取れないが、病気やケガで長期療養を迫られた場合、健康保険や会社が生活の保障をする制度がある。会社によって制度、ルールが異なり就業規則や健保組合の情報などで確認したい。

病気で休む場合、大企業では病気が治れば職場に戻る休職制度がある。大企業の多くは2年程度

① 傷病手当金

概要 健康保険の被保険者が病気やケガで働けず、3日連続で会社を休み、給与が支給されない場合、4日目から支給される。

支給額・期間 病気で休んだとき、標準報酬日額の3分の2を支給される。支給開始日から1年半まで。

傷病手当金は最長1年半で終了する。大企業の休職期間も最長2年程度の設定が多い。療養による休みが2年を超えるなら、働く先・収入源を別途考える必要が出てくる。

② 付加給付(高額療養費)

概要 大企業の健康保険組合で入院など治療費が高額になる場合、自己負担の一部を給付する仕組み。

支給額・期間 支給額要件は企業により異なる。2年経過すると時効になる。

時効となった年次有給休暇を積み立て、長期療養など一定の理由の場合に有休として使える制度がある。社員の共済会や互助会が見舞金を支給することもある。金額は企業によりかなり異なる。

重い病気にかかり長期療養に入れば、医療費もかさみがちになる。高額な医療費も健康保険の高額療養費制度により、1カ月に支払った額から一定額を超えた分が戻ってくるが、「付加給付」のある健保組合は、さらに優遇され実質的な自己負担額が少なくなる。組合によっては1カ月の自己負担上限額が2万円ということも。時効は2年で、申請忘れに注意しよう。

最近では一般的に脳疾患でも1年以内には復職するケースが多い。企業間の差は大きいものの、休職制度や健康保険の給付を活用すれば、家計収支面では厳しいながらも過ごせるだろう。ただ、躁鬱などのメンタルヘルス系の疾患は長期化する傾向も多い。いったん

復職しても再び症状が悪化するケースもある。傷病手当金が支給される1年半を超え、休職期間が終わると会社を辞めることになる。会社員は働いて収入を得ることが、家計運営の前提になっている。それを理解したうえで、自分が重い病気になったら、どのような点が不安かをイメージ。心配の内容は入院中の差額ベッド代か、健康保険対象外の先進医療費用か、生活費の減少か。目的に合った形で医療保険、所得補償保険に入るなどの検討をしたい。

健康維持の秘訣

会社の制度を確認しよう

会社によって休職、健康保険付加給付などの中身が異なる。就業規則などを確認したい。

「不安」の分だけ保険で備え

自分の健康への不安の中身をイメージ。そのうえで保険加入も検討する。

メンタル系は長期化も覚悟を

治療が2年を超える可能性も低くない。生活の不安なく治療できる体制作りがポイント。